

成倫勉強会報告 2015. 7. 17

日時／ 2015年7月17日(金) 14:00~15:30

会場／ NHK 青山荘 (東京都港区)

講師／ 特定非営利活動法人 知的財産振興協会

副理事長 瀬谷 慎氏

講演／ 「違法動画の販売・配信を許すな！
特定非営利活動法人 知的財産振興会の活動と取組み」

出席者／ 43名

日本の成人向けコンテンツの著作権侵害の状況は深刻な状況にあります。正規の商品が違法にコピーされて、安価なコピーDVDが大量に販売されています。またインターネット関連では、違法サイト、P2Pの悪用による違法ダウンロード等手口は多様化し拡散されています。このような無法状況を放置すればアダルト業界は疲弊してしまい、日本のコンテンツ業界全体が衰退するとして、知的財産振興協会（略称：知財協）は、2011年に特定非営利活動法人（NPO法人）として立ち上がりました。知財協は、アダルトコンテンツの制作メーカーが加盟している業界5団体約240社が結束して違法の海賊版対策に取り組んでおります。

この度の勉強会では、知財協の瀬谷副理事長をお招きして、組織の立ち上げから日頃の取組みと更には海賊版撲滅への啓蒙活動を紹介していただきました。

国内での取組みでは、実際の違法店への立ち入りや違法オークションのネット調査から始めて、摘発、逮捕まで成果を上げています。また海外においては、台湾では、著作権の認識の違いから、違法コピーDVDが堂々と販売されていましたが、行政機関にも働きかけて、裁判により著作権違反の認識を勝ち取ることができました。韓国においては、インターネット上のサービスで視聴することが主流であります。日本の成人向けコンテンツが、ほぼすべて無許可の違法流通であることから、現地へ韓国初の日本成人コンテンツの著作権登録などして、著作権侵害の監視に成果をあげております。米国では、FC2動画アダルトの運営社に対して、原告側メーカーが動画投稿サイトの責任を問う裁判を東京地裁に提訴し、知財協が権利を守るべくバックアップするなど、精力的な活動と成果が述べられました。

また違法なコピーDVDや違法ダウンロードは著作権侵害の犯罪であることをPRし、一般ユーザーに広く認識してもらうためのイベントなど啓蒙活動の取組みも紹介されました。

勉強会に参加した会員からは、業界の秩序を守るため大切な活動をされている。知的財産保護のための地道な取組みに感銘を受けた。アダルトに限らず知的財産を守るため、業界各団体間の連携を強化していきたい等の多くの感想が寄せられました。

以上